

茨城県議会議員一般選挙選挙公報

龍ヶ崎市・利根町選挙区

民間の力を県政へ

前例の有無に拘わらず、市民目線・民間発想で「県とのパイプ役」を務めてまいります。財政に配慮した政策立案とアプローチで課題解決に取り組めます。



無所属
きむら ただし
66歳

プロフィール

- 【略歴】**
 1952年 東京都出身
 ◆明治大学・政治経済学部卒
 ◆明治大学・公共政策大学院修了
 ◆修士論文・・・2015年優秀賞受賞
- ◆金融機関職員
 審査部・調査役、審査役
 窓販センター長、リスク管理室長
 コンプライアンス委員など
- ◆資格関係
 中学・高校教員免許
 証券外務員1種(内部管理責任者)
 宅地建物取引士、FP技能士など
- 日本自治体危機管理学会 会員
 ●総資産情報デザイン研究所 代取

人生100年時代を見据えた政策

- ◆ **コミュニティビジネス等の活動を支援するための基金(地域創造基金)の設立に取り組めます。**
「京都地域創造基金」という公益財団法人があります。この財団は、寄附やクラウドファンディング等により資金(志金)を集め、NPOなど社会的事業を行う団体等に資金の供給をしています。自治体財政に配慮した「新たなアプローチ」で地域活性化に取り組めます。
- ◆ **図書館を地域活性化の核と位置づけ、教育支援、NPO支援、ライフシフト支援の機能を充実を図ります。**
人生100年時代を豊かに生き生きと過ごすためには、既存の社会システムを変えていく必要があります。幼児教育からライフシフト支援、地域の方々が様々な形で社会との接点を持つ「場」として図書館の在り方(機能)を見直し、「電子図書館」を推進します。
- ◆ **起業・創業を志す人を支援し、地域活性化を図ります。** ※「f-Bizモデル」は富士宮市が成功した事業者・創業者支援モデル
いま日本の事業所の数が急激に減少し、地域活性化と逆の流れとなっています。地域の既存事業所の支援はもちろんのこと、起業・創業を志す若者・女性・シニアの方々を応援します。お金をかけない事業支援の新たな形「f-Bizモデル」※の導入を具体化します。

木村正オフィシャルサイト kimuratadashi.com

提案

みんなで語ろう茨城のみらい

茨城県・龍ヶ崎市・利根町の未来を築く4つの柱(幸せのクローバー)

01 Economy 経済

- 特産物の創出
- 経済特区を制定し街おこし
- 租税の軽減・奨学資金の交付
- 憩いの広場に朝市を実施
- 起業の意思ある人への投資

商店街の再生

02 Medical care 医療

- 龍ヶ崎済生会病院の中核化と市町内医療機関の連携強化
- 最新医療・防災医療機関の特区分区指定と設置
- 最新医療機関及び緊急当番医の見直し
- 心のケア体制づくりと公認心理師の導入
- 廃校の有効利用
- 高齢者の懇親会会場
- 青少年者のスポーツの場
- ドクターヘリの導入
- ドクターカーの導入



03 Public order 治安

- 防災対策・マニュアルの改訂
- 犯罪防止/痴漢防止
- 防災システムの再構築・退官職員の生きがい活用
- 交番の効果的な配置・設置
- 防犯備品の充実(水・備蓄食料・毛布・通信機・発電機・消火器等)

04 Education/Culture 教育・文化

- 拙作・鳥追い・大杉雛子等の保存・継承
- 文化財の有効利用
- 文化協会の活性化(発表場の増設)美術館の設置
- 図書館の資料を電子化し利用拡大
- 文化財の保護・基金の設立
- 県内美術館所蔵の美術品を巡回展示
- 芸術品・埋蔵品の発掘と展示
- 児童生徒との文化・遊びの交流
- スクールバスの添乗員導入
- 小中学校と高校の一貫校設置
- いじめ対策の徹底

- 龍ヶ崎駅とJRとの相互乗り入れて都内に乗り換えなしで通勤通学買物ができるようになる
- 隣接市町村のコミュニティバスの連携で牛久駅・取手駅・藤代駅・佐貫駅・竜ヶ崎駅・布佐駅を結ぶ
- 小貝川・利根川・霞ヶ浦等の水路利用による観光・海上交通の構築 ●運行路の再編成
- 有望な青少年～熟年者への投資

県議会選挙に立候補したおばた昇氏のご支援をお願いすべく筆をとりました。昇氏は、その誠実な人柄で当連盟の役員として力を注いでいただいております。その経験や実行力は県政でも十二分に生かしていただけるものと確信しており、県政を任せるにふさわしい人物と思っております。県政への強い思いを見ていただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。

茨城県ソフトテニス連盟
会長下妻利之



おばた 昇
のぼる

人づくりとしての教育

すべての子どもが望む教育を受ける機会をつくるため、教育環境の改善・充実を図ります

- 茨城教育県民会議の設置によるユニークな教育の計画・実行
- 特別奨学金制度の創出で学業、スポーツ、音楽、美術など、世界へ羽ばたく子どもへの特別支援
- 県立高校の給食導入
- 少人数教育の充実と教職員の職場環境の改善

人が育つ子育て

未来を担う子どもたちが健全に育つことができる環境の充実

- 子育てしながら、働きやすい環境づくり
- 保育士・幼稚園教諭等の人材確保と育成で雇用面の格差是正の実現
- 保育所・病児保育・学童保育の充実

人が輝く未来をつくる



人が活躍する働く環境づくり

人がそれぞれの能力を十分発揮できるように安心して働ける環境をつくります

- 地域産業を支える中小企業等を総合的に支援
- 仕事と生活の調和の実現
- 非正規労働者の労働条件の改善

人が安全に安心して暮らせるまちづくり

高齢者も障がい者も地域の中で安心して暮らせる環境をつくります

- 医師不足や医師の過重労働などの対策に取り組みます
- 障がい者の働き後も安心して暮らせるよう、成年後見制度、ボランティア団体等を支援
- 介護難民や買物難民にならない仕組みづくり
- 安心安全で決め細やかな防災体制の強化
- 原発は地域住民の意思を尊重し、再生可能エネルギーへの転換、実効性ある避難計画を求めていきます

見える県政へ！
チャレンジ！ IBARAKI

人を豊かにする地域活性化

人が集まる魅力ある地域をつくります

- 牛久沼の利活用と茨城県南地域にある資源を繋げて多くの人が集まる魅力づくり
- 食文化を豊かにする多彩な事業への取り組み
- 魅力ある地域農業に育てていくためのスマート農業、国際的な農産物のブランド育成
- 食糧安全保障の観点から、食料自給率の向上、種子法廃止の見直しなどの課題に地域から取り組んでいきます



いとうが
米賀あつし

平成30年12月9日
執行

茨城県議会議員一般選挙選挙公報

茨城県選挙
管理委員会

龍ヶ崎市・利根町選挙区



人口減少問題に新たな発想で挑戦

災害時の情報発信と備蓄の確保

高齢者が安心して暮らせる街づくり

観光資源(牛久沼)の活用を推進

企業や工場が進出する街づくり

「新たな挑戦へ」

夢と希望が茨城県を変えろ

プロフィール

■生年月日
昭和47年10月31日生

■学歴
・龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校卒業
・龍ヶ崎市立城南中学校卒業
・東洋大学附属牛久高等学校卒業

■職歴
・元大昭建設(株) 営業課長兼工事長
・(有)R J 計画 代表取締役社長

■経歴
・龍ヶ崎イルミネーション実行委員長
・龍ヶ崎まちづくり研究会事務局長
・龍ヶ崎市商工会理事
・龍ヶ崎地方塵芥処理組合議長(歴代最年少)
・龍ヶ崎市議会議員 副議長(歴代最年少)
・龍ヶ崎市議会環境生活委員会 委員長
・龍ヶ崎市議会広報委員会 委員長

■家族
・妻(利根町出身・同級生)・長女(20歳 大学生)・長男(6歳 幼稚園生)



坂本
りゅうじ
(46歳)

1 市民・県民の安心安全のために! 2 医療と福祉の充実!

- 防災力の強化
 - ・異常気象に対応した情報収集・情報提供体制の充実強化
 - ・情報発信力と伝達能力の強化
 - ・災害に強いIT環境の整備
 - ・消防職員や災害に関わる人材の技術力・災害対策力の向上
- 警察官の増員と防犯体制(防犯カメラ等)の強化
 - ・24時間体制の交番設置と見守り体制の強化
 - ・高齢者や子どもを守る防犯セーフティネットの充実



- 地域医療のICTによる連携
- 救急隊の増員と搬送体制の強化
- 医師の増員体制の構築と県内の医療過疎の解消
- 高齢者の健康増進プログラムの普及推進
 - ・高齢者向けの体育施設や生活指導人員の配置
- 在宅医療システムの早期構築
- 障がい児へのキャリア教育の推進と就労支援



次の任期中で重点的に取り組みます!!

3 県の魅力アップと地域活性! 4 子育てと未来を創る人材育成!

- スポーツによる本県の振興
 - ・国体と東京オリ・パラリンピックに乘じた振興
 - ・スポーツ観光・スポーツツーリズムの推進
 - ・スポーツトレーナーを活用した身体づくりの強化
 - ・障がい者スポーツのサポート体制の構築と推進
- 牛久沼を活かした地域振興



- 県職員・教職員のスキルアップ
- 待機児童解消のための保育人材確保
- 小中学校での継続的な体験活動の推進
- 地域と連携した高校生の社会活動支援
 - ・職業体験や地域活動への参加推進
- 包括的な教育費の負担軽減を実現



萩原 勇 はぎわら いくよ

PROFILE

- 昭和50年7月 龍ヶ崎市に生まれる
- 龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校卒業
- 龍ヶ崎市立城南中学校卒業
- 茨城県立牛久高等学校卒業
- 中央学院大学法学部卒業
- 明治大学公共政策大学院 修了(公共政策修士)
- 平成11年より、参議院議員・狩野秘書
- 平成19年4月 龍ヶ崎市議会議員に当選

- 平成21年 茨城県議会議員に初当選(現在3期目)
- 情報委員会副委員長
- 文教警察委員会委員長
- 決算特別委員会副委員長
- 土木企業委員会委員長
- 情報委員会委員長 等を歴任
- 平成30年9月現在
- 保健福祉医療委員会委員
- 予算特別委員会委員
- 新しい茨城づくり調査特別委員会副委員長

- いばらき自民党における役職
- いばらき自民党青年局長
- いばらき自民党広報本部長 等を歴任
- いばらき自民党幹事長代行(現在)

- 団体活動 龍ヶ崎消防団 龍ヶ崎リトルリーグ副会長 倫理法人会

- 顧問活動 若商会茨城県連合 龍ヶ崎市建築技能者組合 茨城県軟式野球連盟龍ヶ崎支部 龍ヶ崎市ソフトボール連盟 擔舞保存会



自由民主党
はぎわら 勇
43歳

子育て支援・少子化対策を推進

子どもの医療費助成制度の拡大/第2子以降への支援策の推進/休日・夜間保育・病児・病後児保育等特別保育の支援 など

高齢者福祉サービス体制を充実

高齢者の活躍の場を創出/ディサービス・居場所づくりを一体的に運用/多床室老人福祉施設の整備促進/訪問看護事業の支援 など

医療体制を充実

医療従事者の確保/救急医療・周産期医療の整備/がん対策の推進

障がい者福祉の充実

特別支援学校の教育環境の改善/障がい者法定雇用率のアップ

確かな経験を結果にします!

【プロフィール】

- 1951年3月26日生まれ (B型・兎年・牡羊座)
- 1969年3月 龍ヶ崎小学校・愛宕中学校・茨城県立龍ヶ崎第一高等学校卒業
- 1969年4月~ 龍ヶ崎市役所入庁(監理課長・参事兼新清掃工場建設プロジェクト課長・都市整備部長・企画財務部長を経て、龍ヶ崎市第15代助役・初代副市長へ)
- 2011年4月~ 龍ヶ崎市議会議員2期・龍ヶ崎地方衛生組合議長(1期目2,492票トップ当選・2期目2,510票トップ当選)

県政をもっと身近に!

生きる力が身につく教育の推進

義務教育9年間連続した学びのある教育の取り組みの推進/少人数授業の推進/スーパーサイエンスハイスクール指定校の継続

雇用の場の創出

中小企業への支援策/新たな企業誘致の推進

農業の再生

圃場整備と一体的に農地流動化を推進/担い手の確保・育成 など

街づくり

牛久沼ヘルスロードの早期完成/広域幹線道路の早期完成/地域公共交通への支援策/市町村合併住民意識の醸成

東海第二原発の廃炉

稼働から40年の老朽化した危険な原発の廃炉

地域住民の心に寄り添った 県政の実現!



油原のぶよし
ゆはら 無所属